

2025 年度

日本医学会 年次報告

2026 年 2 月 25 日

日本医学会

目次

1. 日本医学会総会1
1) 「第32回日本医学会総会 2027」の準備1
2. 日本医学会幹事会3
3. 日本医学会臨時幹事会3
4. 日本医学会定例評議員会4
5. 日本医学会臨時評議員会4
6. 日本医学会シンポジウム4
1) 日本医学会シンポジウム4
2) 日本医学会シンポジウム企画委員会4
3) 日本医学会シンポジウム記録5
4) 日本医学会シンポジウムの講演要旨5
7. 日本医学会公開フォーラム5
1) 日本医学会公開フォーラム5
2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会5
3) 日本医学会公開フォーラム記録6
8. 日本医学会協議会6
9. 日本医学会正副会長会議6
10. 日本医学会医学用語管理委員会6
11. 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ7
12. 不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ7
13. 用語標記基本指針策定ワーキンググループ7
14. 日本医学会分科会用語委員会8
15. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会8
16. 日本医学会加盟検討委員会9
17. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会10
18. 日本医学会利益相反委員会10
19. 日本医学会分科会利益相反会議10
20. 日本医学雑誌編集者組織委員会11
21. 日本医学雑誌編集者会議 (JAMJE) 総会・シンポジウム11
22. 研究倫理教育研修会12
23. 日本医学会総会あり方委員会12
24. 再生医療等レジストリ協議会13
25. 移植関係学会合同委員会13
26. 出生前検査認証制度等運営委員会14
27. 日本医学会 e-News14
28. 情報発信15
29. 会議等の開催数15
30. その他16

綴じ込み

日本医学会 e-News No.11	……………17
日本医学会 e-News No.12	……………19

1. 日本医学会総会

1) 「第 32 回日本医学会総会 2027」の準備

第 32 回日本医学会総会 (2027 年) はメインテーマを「医学のレジリエンス～みらいへの挑戦と貢献～人生 100 年時代をどう生きるか」として、組織委員会を中心に開催の準備を進めている。各委員会の開催状況は下記の通り。

2026 年 1 月 6 日現在、決定している概要をその下に掲載する。

<2025 年 4 月～2026 年 1 月までの主要な委員会開催状況(打合せ含む)>

- コアメンバー会議: 4/11, 4/25, 5/2, 5/23, 6/13, 6/20, 7/4, 7/25, 8/8, 8/22, 9/12, 9/26, 10/17, 10/31, 11/21, 11/28, 12/12, 12/26
- 学術委員会: 5/13(U40 委員), 8/1
- 総務委員会: 5/30, 8/1, 9/19
- 登録委員会: 9/25, 1/13
- 展示・イベント委員会: 5/21
- 広報委員会: 7/24
- 式典委員会: 7/7
- 産業保健委員会: 7/15
- ソーシャルイベント委員会: 7/23

①学術委員会

- ・特別講演として、山極壽一先生、山中伸弥先生、坂口志文先生、柳沢正史先生をはじめ、その他著名な先生方による 14 講演が決定した。
- ・会頭特別企画として、4 つの座談会の開催と、6 つのシンポジウムを予定している。座談会のテーマは本総会のメインテーマである「医学のレジリエンス」のほか、日本医史学会と連携した「医学の歴史探訪」など。
- ・副会頭 11 名にて企画する、副会頭特別企画を行う。7 セッションの開催にて調整中。
- ・学術委員会企画として、臨床系、基礎系、社会、医工・産学連携の 4 サブグループについて、33 のセッション企画を策定した。
- ・日本看護協会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本病院薬剤師会と連携し、各協会との共同企画として、6 セッションの企画内容を検討している。
- ・19 学会の推薦により 20 名の U40 委員を選出した。12 セッションを検討している。
- ・日本医学会加盟分科会を対象に、分科会連携シンポジウム企画の公募を行い、47 の応募があった。各企画内容を確認のうえ、澤会頭のご判断のもと、その全企画を採択とした。
- ・日本医学会奨励賞の概要について検討している。

②総務委員会

- ・会場は大阪国際会議場をはじめ、講演会場を 23 カ所確保している。
- ・各分科会の認定単位および産業医認定単位については調整中。
- ・コンgresバッグをはじめとした学術プログラム等の参加登録者に対する配付物についても検討をしている。

・各省庁はじめ医療関係およびメディアへの後援名義使用の承諾を受けた(一部については承認待ち).

③登録委員会

- ・オンライン参加登録を2月5日より開始した.
- ・参加登録は参加方法を一律「現地+WEB 参加」として、費用は【早期事前登録】を設定なしとして、【事前登録】と【通常登録】の2区分とした. また、これまで医師や歯科医師でも大学院生や臨床研修医と分かれていたが、【Under30】と【Under40】に吸収することで、カテゴリーの簡略化を図った.
- ・今回も前回は踏襲し、全国の医学部・医科大学、都道府県医師会の推薦により、登録推進委員を選出した.
- ・登録推進パンフレットを作成のうえ配布する.

④展示・イベント委員会

- ・学術展示を「情報交換スペース(学術展示)」として、多くの参加者が興味をもって集い、参加企業にとって医療者と貴重な情報交換を行うことでビジネス展開につながるような場を提供したい.
- ・市民展示のテーマを「いのち健康みらい博 2027 いのち輝く、その先へ。」とし、医療から健康ヘルスケア、ウェルビーイングをテーマに、グランフロント大阪、グラングリーン大阪、JR 大阪駅時空の広場や阪急梅田駅、阪急百貨店など、エキナカ・エキマエ施設を利用し、参加者100万人超を目指すべく計画を進めている.

【みらいに触れる、4つのゾーン】

1. メディカルゾーン「みらいドクターキャンプ」
 - ・・・未来の医療を学び、体験し、育てる秘密基地
2. フューチャーゾーン「みらいタイムトラベル」
 - ・・・医療とヘルスケアの未来へ続く旅 過去と未来が交差する広場
3. グリーンゾーン「みらいしあわせピクニック」
 - ・・・自然の中でウェルビーイングを感じる未来の公園
4. ライフスタイルゾーン「みらいデザインステーション」
 - ・・・これからの健康的で豊かな暮らしを発信する拠点

⑤産業保健委員会

- ・日本医学会総会における産業医セッションの質向上を目指して今回より新設.
- ・産業医の研修単位取得セッションの内容を検討し、サテライト会場設置も踏襲する.
- ・産業医セッションの予約は参加登録の【通常登録】と同時に開始する予定である.
- ・市民へ「正しい産業医とは」を啓発する企画も検討中している.

⑥広報委員会

- ・広報用ポスターを作成した.
- ・総会に向けた機運醸成や分科会での広報用のショートビデオを作成している.
- ・すでに決定している特別講演など目玉プログラムの情報をホームページで公開した.
- ・SNS (Instagram, Facebook, X) の開設を準備中である.

⑦式典委員会

- ・4/23 開会式、4/25 閉会式ともに大阪国際会議場で開催予定としており、開会式の前日 4/22

に会頭招宴を準備している。また、4/24 夕刻に大阪中之島美術館を中心に Gala Dinner を開催すべく調整中である。

⑧財務委員会

- ・協賛・出展および寄付を団体・企業等へ積極的に依頼している。
- ・企業説明会については第 1 回を 9/9 に、第 2 回を 2/13 に開催した。
- ・透明なる財務を構築するため、会計事務所に経理処理を依頼している。

⑨記録委員会

- ・記念書籍「医学のレジリエンス」を総会当日に発行し、参加登録者に配付予定である。

⑩ダイバーシティ推進委員会

- ・ダイバーシティ&インクルージョンにまつわる学術プログラムを2企画検討している。
- ・学術展示会場において展示を企画している。

⑪ソーシャルイベント委員会

- ・9 の種目を企画し、その準備に取りかかっている。

<第 32 回日本医学会総会事務局>

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

大阪大学大学院医学系研究科 岸本記念医学史料館(3 階)

Email: office@isoukai2027-osaka.jp

<学術講演会・情報交換スペース(学術展示)運営事務局>

株式会社コングレ内

〒530-0005 大阪市北区中之島 4-3-51 Nakanoshima Qross 未来医療 R&D センター

E-mail: isoukai2027@congre.co.jp

<市民展示・イベント運営事務局>

株式会社電通内

〒530-8228 大阪市北区中之島 3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

E-mail: shimintenji2027@dentsu.co.jp

2. 日本医学会幹事会

第 3 回日本医学会幹事会を、2 月 25 日に web 開催した。主な議題は、「2025 年度日本医学会年次報告」「2026 年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」等である。

3. 日本医学会臨時幹事会

日本医学会臨時幹事会を、6 月 27 日に web 開催した。主な議題は、「日本医学会役員の内件」「日本産科婦人科学会からの要望に対する日本医学会としての対応の内件」「『日本医学会 COI 管理ガイドライン 2022』一部改定案の内件」である。

4. 日本医学会定例評議員会

第93回日本医学会定例評議員会を、2月25日にweb開催した。主な議題は、「2025年度日本医学会年次報告」「2026年度日本医学会事業計画」「日本医学会加盟学会」等である。

5. 日本医学会臨時評議員会

日本医学会臨時評議員会を、6月27日にweb開催した。主な議題は「日本医学会役員の件」「日本産科婦人科学会からの要望に対する日本医学会としての対応の件」「『日本医学会 COI 管理ガイドライン 2022』一部改定案の件」である。

6. 日本医学会シンポジウム

1) 日本医学会シンポジウム

本年度は次のとおり、2回開催した。

・第166回日本医学会シンポジウム

テーマ:宇宙医学の展望～有人宇宙飛行の飛躍の時代にむけた医学

開催日:5月24日(土)

開催場所:日本医師会館 大講堂/LIVE配信(ハイブリッド開催)

組織委員:岩崎賢一(日本大学医学部衛生学分野教授/日本宇宙航空環境医学会理事長),
東尚弘(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授)

参加者数:324名(会場参加者97名, LIVE配信受講者227名)

・第167回日本医学会シンポジウム

テーマ:こどもの心とからだを支える—成育医療と社会の接点

開催日:12月13日(土)

開催場所:日本医師会館 大講堂/LIVE配信(ハイブリッド開催)

組織委員:岡明(埼玉県立小児医療センター病院長), 滝田順子(京都大学大学院医学研究科
発達小児科学教授)

参加者数:176名(会場参加者39名, LIVE配信受講者137名)

2) 日本医学会シンポジウム企画委員会

委員は高柳広(東京大学大学院医学系研究科教授・免疫学), 田中伸哉(北海道大学大学院医学研究院教授・腫瘍病理学), 野村恭子(秋田大学大学院医学系研究科教授・公衆衛生学), 東尚弘(東京大学大学院医学系研究科教授・公衆衛生学), 滝田順子(京都大学大学院医学研究科教授・小児科学), 藤尾圭志(東京大学大学院医学系研究科教授・アレルギー・リウマチ学), 加藤聖子(九州大学大学院医学研究院教授・生殖病態生理学), 武富紹信(北海道大学大学院医学研究院教授・消化器外科学)の8名で構成されており, シンポジウムの基本方針, テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。本年度は次のとおり開催した。

- ・第3回日本医学会シンポジウム企画委員会(5月16日)
第167回のテーマ案について検討がなされた。
第167回テーマ:こどもの心とからだを支える—成育医療と社会の接点
- ・第4回日本医学会シンポジウム企画委員会(10月15日)
第168回のテーマ案について検討がなされた。
第168回テーマ:着床前遺伝学的検査(PGT-M)について考える

3) 日本医学会シンポジウム記録

日本医学会ホームページの「Onlineライブラリー」で「第166回日本医学会シンポジウム」「第167回日本医学会シンポジウム」の映像を配信した(<https://jams.med.or.jp/>)。

4) 日本医学会シンポジウムの講演要旨

講演要旨は、日本医師会雑誌に次のとおり掲載した。
「第166回日本医学会シンポジウム」:第154巻5号
「第167回日本医学会シンポジウム」:第154巻10号

7. 日本医学会公開フォーラム

1) 日本医学会公開フォーラム

本年度は次のとおり、2回開催した。

・第37回日本医学会公開フォーラム

テーマ:認知症医療の新時代を迎えて

開催日:5月17日(土)

開催場所:日本医師会館 大講堂/LIVE配信(ハイブリッド開催)

組織委員:岩坪 威(国立精神・神経医療研究センター神経研究所長・理事), 池内 健(新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター教授)

参加者数:298名(会場参加者58名, LIVE配信受講者240名)

・第38回日本医学会公開フォーラム

テーマ:AIがもたらすこれからの医療DX

開催日:12月20日(土)

開催場所:日本医師会館 大講堂/LIVE配信(ハイブリッド開催)

組織委員:大江和彦(順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科特任教授), 中島直樹(九州大学大学院医学研究院医療情報学分野教授)

参加者数:322名(会場参加者62名, LIVE配信受講者260名)

2) 日本医学会公開フォーラム企画委員会

委員は岡明(埼玉県立小児医療センター病院病院長), 小野稔(東京大学大学院医学系研究科教授・心臓外科), 今村英仁(日本医師会常任理事), 永山悦子(毎日新聞社論説委員), 竹下克志(自治医科大学教授・整形外科), 南砂(読売新聞東京本社常務取締役/調査研

究担当), 綿田裕孝(順天堂大学大学院医学研究科教授・代謝内分泌内科学)の7名で構成されており, 公開フォーラムの基本方針, テーマおよび組織委員について企画構成を行っている。本年度は次のとおり開催した。

- ・第3回日本医学会公開フォーラム企画委員会(5月16日)
第38回のテーマ案について検討がなされた。
第38回のテーマ:AIがもたらすこれからの医療DX
- ・第4回日本医学会公開フォーラム企画委員会(10月15日)
第39回のテーマ案について検討がなされた。
第39回のテーマ:骨粗鬆症～人生100年時代の骨折予防を考える

3) 日本医学会公開フォーラム記録

日本医学会ホームページの「Online ライブラリー」で「第37回日本医学会公開フォーラム」, 「第38回日本医学会公開フォーラム」の映像を配信した(<https://jams.med.or.jp/>)。また, 全国の大学院医学系研究科長/大学医学部長・医科大学長宛に映像配信についての周知依頼を発出した。

8. 日本医学会協議会

毎月1回, 会長・副会長, 日本医師会担当副会長・常任理事で定期的で開催した。

9. 日本医学会正副会長会議

2024年より新たに発足した会議で, 日本医学会の会長, 副会長で3ヶ月に一回程度開催している。本年度は第1回を7月9日に開催した。

10. 日本医学会医学用語管理委員会

委員長:大江和彦(順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科特任教授), 副委員長:南学正臣(東京大学大学院医学系研究科教授・腎臓・内分泌内科学), 委員:安西尚彦(千葉大学大学院医学研究院教授・薬理学), 石川俊平(東京大学大学院医学系研究科教授・衛生学), 今井健(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター准教授・医工情報学), 荻島創一(東北大学高等研究機構未来型医療創成センター教授), 小野木雄三(国際医療福祉大学臨床医学研究センター教授), 神庭重信(九州大学名誉教授), 久具宏司(国際医療福祉大学成田薬学部教授/山王病院産婦人科), 齊藤光江(順天堂大学大学院医学系研究科特任教授・乳腺腫瘍学), 坂井建雄(順天堂大学医学部医史学研究室客員教授), 辻省次(国際医療福祉大学ゲノム医学研究所所長・教授), 森内浩幸(長崎大学高度感染症研究センター長)の13名と協力会社2社により構成されている。

本年度は第7回を12月9日に開催した。

11. 遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ

遺伝学に関する用語は、医学、教育、社会において広い分野で関係することから、日本医学会としては十分な検討の上、プロセスを踏んでコンセンサスを形成することが重要と考え、医学用語管理委員会の下に設けている。座長：辻省次(国際医療福祉大学ゲノム医学研究所所長・教授)、委員：柏井聡(柏井医院理事)、久具宏司(国際医療福祉大学成田薬学部教授／山王病院産婦人科)、櫻井晃洋(カレス記念病院ゲノム医療センター長)、戸田達史(国立精神・神経医療研究センター病院長)、小崎健次郎(慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター教授)、柁屋啓志(理化学研究所バイオリソース研究センター統合情報開発室室長)、森内浩幸(長崎大学高度感染症研究センター長)の8名で構成されている。

本年度は第15回を10月30日に開催した。第16回は3月3日に開催予定。

12. 不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ

病名や疾患名、置換えが望ましいが検討の余地がある用語、「奇形」以外で不適切な用語、不適切な人名の付いた用語等を検討することを目的として、医学用語管理委員会の下に設けている。座長：森内浩幸(長崎大学高度感染症研究センター長)、委員：柏井聡(柏井医院理事)、片井みゆき(製作研究大学院大学保健管理センター所長・教授)、門野岳史(聖マリアンナ医科大学主任教授・皮膚科学)、神庭重信(九州大学名誉教授)、久具宏司(国際医療福祉大学成田薬学部教授／山王病院産婦人科)、小崎健次郎(慶應義塾大学臨床遺伝学センター教授)、古庄知己(信州大学医学部教授・遺伝学)、武田裕子(順天堂大学大学院医学研究科教授・医学教育学)、田中秀明(福島県立医科大学附属病院小児外科教授／移植医療部部長)、丹羽隆介(筑波大学生存ダイナミクス研究センター教授)、彦坂信(国立成育医療研究センター形成外科診療部長)、柁屋啓志(理化学研究所バイオリソースセンター統合情報開発室長)、三木崇範(香川大学医学部教授・神経機能形態学)、山本哲哉(横浜市立大学大学院医学研究科教授・脳神経外科学)、若生政憲(国立病院機構甲府病院整形外科医長)の16名で構成されている。

本年度は第2回を6月30日に、第3回を9月27日に、第4回を1月7日に開催した。

13. 用語表記基本指針策定ワーキンググループ

医学用語における用語の表記方法の基本方針を策定することを目的として、医学用語管理委員会の下に設けている。座長：久具宏司(国際医療福祉大学成田薬学部教授／山王病院産婦人科)、委員：坂井建雄(順天堂大学医学部医史学研究室客員教授)、今井健(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター准教授・医工情報学)、神庭重信(九州大学名誉教授)、森内浩幸(長崎大学高度感染症研究センター長)、西嶋佑太郎(京都府立洛南病院)、笹原宏之(早稲

田大学社会科学総合学術院教授・社会科学部)の7名で構成されている。

本年度は第4回を9月12日、第5回を9月30日、第6回を11月11日に開催した。1)漢字に関すること、2)カタカナに関すること、3)記号、区切り文字、書体、全般に関することを検討している。

14. 日本医学会分科会用語委員会

本年度は、1月13日にweb開催した。清水貴也厚生労働省国際分類情報管理室室長から「ICD-11 国内適用に向けた準備状況等について」の講演があったほか、各ワーキンググループからの報告、日本医学会医学用語辞典WEB版のメンテナンス報告、質疑応答等があった。内容を日本医学会ホームページに掲載した。

15. 日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会

医学賞・医学研究奨励賞の選考作業は、日本医学会が日本医師会より委任されているもので、本年度は8月22日に開催された。

委員に加え、特例委員として、高柳広(東京大学大学院医学系研究科教授・免疫学)、秋葉澄伯(鹿児島大学名誉教授・疫学)、山内敏正(東京大学大学院医学系研究科教授・糖尿病学・代謝学)、四柳宏(東京大学医科学研究所附属先端医療研究センター特任教授・感染症内科学)、須原哲也(量子科学技術研究開発機構副理事・精神科)、志水秀行(慶應義塾大学医学部教授・外科学(心臓血管))、廣瀬雄一(藤田医科大学医学部教授・脳神経外科学)、根岸一乃(慶應義塾大学医学部教授・眼科学)の8名が加わった。

結果は、次のとおり医学賞4名、医学研究奨励賞15名が選考され、11月1日の日本医師会設立記念医学大会において表彰された。なお、医学賞受賞者の論文は日本医師会雑誌(第154巻第10号)に掲載された。

[2025年度日本医師会医学賞]

- ・血液細胞の産生、骨芽細胞の供給に必須の骨髄微小環境(ニッチ)の解明
長澤丘司/阪大・免疫学
- ・医療と介護を結ぶヘルスサービスリサーチの構築と展開
田宮菜奈子/筑波大・社会医学
- ・双極性障害の神経基盤の解明
加藤忠史/順天堂大・精神医学
- ・角膜難病の視力予後改善に向けた実用的研究
外園千恵/京都医大・眼科学

[2025年度日本医師会医学研究奨励賞]

- ・日本人におけるRNF213遺伝子多型と多様な疾患に関する横断的病態解析

- 曳野圭子／理化学研・小児科学・集中治療
- ・高解像度空間解析を活用したリンパ腫微小環境機構の解明
安部佳亮／筑波大・血液内科
 - ・転写・翻訳解析に基づいた血液がんの新たな病態理解と治療応用
井上大地／阪大・血液内科
 - ・T細胞によるセルフとネオセルフの識別機構を標的とした自己免疫疾患の発症機序解明と新規治療戦略の開拓
森俊輔／阪大・膠原病・リウマチ
 - ・医療側と患者側のデータ統合による代表性を担保した保健医療政策研究
杉山雄大／国立健康危機管理研究機構・社会医学
 - ・現代の社会環境が子どものメンタルヘルスに及ぼす影響に関する社会疫学研究
細澤麻里子／国立健康危機管理研究機構・公衆衛生学
 - ・治療補助アプリによるアルコール依存症早期介入の最適化- 効果層別化による診療科別治療分担モデル構築
宋龍平／岡山県精神科医療セ・精神医学
 - ・上下気道アレルギー疾患のシングルセル・マルチオミクスアトラスの創生と個別化医療の推進
吉田昌弘／慈恵医大・呼吸器内科学
 - ・ミトコンドリア伝播の難治性肺疾患への影響の解明
富樫庸介／岡山大・呼吸器内科学
 - ・転写因子に着目した消化器神経内分泌癌の臨床分類と新規治療法開発
川崎健太／慶大・消化器内科学
 - ・高シヨ糖を介した肥満症・糖尿病発症機序における免疫細胞 GLUT5 の病態生理学的意義の解明
川野義長／慶大・内分泌代謝学
 - ・大腸がんにおける中皮細胞起源腫瘍免疫制御メカニズムの解析
笠島裕明／大阪公立大・消化器外科学
 - ・腫瘍由来エクソソームに着目した泌尿器癌におけるがん免疫制御機構の解明とコンパニオン診断薬の開発
占部文彦／慈恵医大・泌尿器科学
 - ・海馬 Ripple を標的とした新規てんかん治療法と記憶障害に関する基盤的研究
岩田貴光／阪大・脳神経外科学
 - ・AI 学習を用いた p53 変異婦人科癌における新規 p53 染色パターン空間的分布解析
岩橋尚幸／和医大・産科婦人科学

16. 日本医学会加盟検討委員会

13名の委員により構成されており、第1回を11月26日に開催した。本年度の加盟申請の22学会についての審査を慎重に行い、その結果を1月13日開催の日本医学会協議会に提出した。

本審査は、日本医学会加盟検討委員会報告(2021年5月)に示された審査基準に基づいて行われている。

17. 日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

日本医学会として遺伝情報の取り扱い、検査の質保証、提供体制などに取り組むことを目的としている。委員長:福嶋義光(信州大学医学部遺伝医学部特任教授), 委員:青野由利(科学ジャーナリスト/毎日新聞客員編集委員), 苛原稔(徳島大学特命教授), 尾崎紀夫(名古屋大学大学院医学系研究科特任教授), 鎌谷洋一郎(東京大学大学院新領域創成科学研究科教授・メディカル情報生命専攻複雑形質ゲノム解析分野), 櫻井晃洋(札幌医科大学医学部客員教授), 杉浦真弓(名古屋市立大学大学院医学研究科教授・産婦人科学), 高田史男(北里大学大学院医療系研究科教授・臨床遺伝医学), 中山智祥(日本大学医学部医学科教授・臨床検査医学分野), 松原洋一(国立成育医療研究センターシニアフェロー), 山内敏正(東京大学大学院医学系研究科教授・糖尿病・代謝内科)の11名で構成されている。

本年度は第38回を6月2日, 第39回を7月23日, 第40回を12月9日に開催し, 日本産科婦人科学会からのPGT-Mに関する要望への対応, 日本産科婦人科学会からのPGT-M審査に関する報告, 「ゲノム医療施策に関する基本計画」への意見書等について確認・検討を行った。第41回を3月10日に開催予定である。

18. 日本医学会利益相反委員会

委員長:寺内康夫(横浜市立大学大学院医学研究科教授・分子内分泌・糖尿病内科学), 副委員長:武富紹信(北海道大学大学院医学研究院教授・消化器外科学), 委員:石岡千加史(JR東北病院院長), 加藤聖子(九州大学大学院医学研究院教授・生殖病態生理学), 玉腰暁子(北海道大学大学院医学研究院教授・公衆衛生学), 寺井崇二(新潟大学大学院医歯学総合研究科教授・消化器内科学), 浅井文和(日本医学ジャーナリスト協会会長/元朝日新聞社編集委員), 小笠原彩子(南北法律事務所弁護士), 小島多香子(東京医科大学国際教育センター長/教授)の9名で構成されている。

本年度は第1回を9月3日に開催した。全国医学部長病院長会議臨床研究・利益相反委員会からの報告, 「日本医学会 診療ガイドライン策定参加資格基準ガイドランス2023」Q&A, 第8回日本医学会分科会利益相反会議の開催とプログラムの検討, 利益相反管理に関する組織横断的なガイドラインの改定, 日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告等の議論が行われた。第2回を3月9日に開催予定である。

19. 日本医学会分科会利益相反会議

第8回日本医学会分科会利益相反会議を2月19日に開催した。当日の映像および抄録等詳

細については、後日、日本医学会ホームページに掲載する予定である。総会に引き続き、シンポジウムは、寺内康夫日本医学会利益相反委員会委員長と武富紹信日本医学会利益相反委員会副委員長の司会の下、「グローバルな視点からみた COI 管理の現状と課題」をテーマとして、下記のプログラムで開催された。

- ・診療ガイドラインと COI 管理について／奥村晃子(日本医療機能評価機構 EBM 医療情報部部長)
- ・公的データベースを用いた COI 管理の現状と展望／中村健一(国立がん研究センター中央病院国際開発部門長)
- ・海外の患者団体の COI 管理に関する文献レビューについて／中山健夫(日本医学雑誌編集者組織委員会委員長)
- ・患者団体の COI 管理について／浅井文和(日本医学ジャーナリスト協会会長)
- ・国際的ガイドラインを踏まえた COI 教育コアカリキュラムの提案／小島多香子(東京医科大学国際教育研究センター長／教授)

20. 日本医学雑誌編集者組織委員会

委員長:中山健夫(京都大学大学院医学研究科教授・健康情報学), 副委員長:武田裕子(順天堂大学大学院医学研究科教授・医学教育学), 委員:有馬寛(名古屋大学大学院医学系研究科教授・糖尿病・内分泌内科学), 遠藤格(横浜市立大学大学院医学研究科教授・消化器・腫瘍外科学), 木内貴弘(東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワークセンター教授), 久保田壮一(国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)情報基盤情報部研究成果情報グループ調査役), 黒沢俊典(特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会データベース事業部次長), 小島多香子(東京医科大学国際教育センター長／教授), 林和弘(文部科学省科学技術・学術政策研究所データ解析政策研究室長), 山本憲(順天堂大学健康データサイエンス学部教授), 吉岡俊正(東都大学学長)の 11 名と, オブザーバー:首東誠(国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課課長), 城井康信(株式会社メテオ調査役)の 2 名で構成されている。

本年度は第 1 回を 11 月 19 日に開催した。WPRIM(WHO 西太平洋地域医学情報データベース)／APAME(アジア太平洋医学雑誌編集者会議)2025 年会議(オンライン開催)報告や第 14 回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第 14 回シンポジウム(3 月 5 日開催予定)の企画。第 10 回研究倫理教育研修会(2026 年 4 月 2 日開催予定)の日本医学雑誌編集者組織委員会からの演者の提案や医学雑誌編集に関する最近のトピックの紹介, 日本医学会利益相反委員会活動報告等の議論が行われた。

21. 日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・シンポジウム

第 14 回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第 14 回シンポジウムは 3 月 5 日に開催する予定である。当日の映像および抄録等詳細については、後日、日本医学会ホームページに掲載予定。第 14 回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会に引き続き、第 14 回シンポジウムは、

中山健夫(日本医学雑誌編集者組織委員会委員長の司会の下、「学術情報をめぐる国内外の動向」をテーマとして、下記のプログラムで開催予定。

- ・学術分野の著作権に関する国内外のトレンドについて／石島寿道(一般社団法人学術著作権協会事務局長)
- ・国内の医学論文情報検索サービス「医中誌 Web」について／黒沢俊典(日本医学雑誌編集者組織委員会委員／NPO 医学中央雑誌刊行会理事)
- ・研究報告ガイドラインと EQUATOR Network の紹介／高橋由光(京都大学大学院医学研究科パブリックヘルス実装学講座特定教授)
- ・AI 時代の医学研究／山本 憲(日本医学雑誌編集者組織委員会委員／順天堂大学健康データサイエンス学部教授)

22. 研究倫理教育研修会

日本医学会分科会全体で、研究倫理のあり方、研究不正問題の予防と発生時の対応について情報を共有し、各分科会会員の教育啓発に活かすことを目的として、日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会、日本医学会連合利益相反委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会合同で開催している。なお、日本医学会連合利益相反委員会は 2024 年度から参加することとなった。

本年度は、第 9 回研究倫理教育研修会を「変貌を遂げる研究倫理のアップデートとその啓発」をメインテーマに 5 月 1 日に開催し、映像を日本医学会ホームページに掲載した。

23. 日本医学会総会あり方委員会

日本医学会総会のあり方について、中・長期的な展望で検討することを目的としている。委員長：高橋雅英(藤田医科大学研究統括管理室特命教授・統括学術プログラムディレクター)、委員：磯博康(国立健康危機管理研究機構国際医療協力局グローバルヘルス政策研究センター長・理事長特任補佐)、今村英仁(日本医師会常任理事)、角田徹(日本医師会副会長)、勝野雅央(名古屋大学大学院医学系研究科教授・神経内科学)、北川雄光(慶應義塾大学医学部教授・外科学)、齊藤光江(順天堂大学医学部特任教授・乳腺腫瘍学)、坂田泰史(大阪大学大学院医学系研究科教授・循環器内科学)、田中伸哉(北海道大学大学院医学研究院教授・病理学)、玉腰暁子(北海道大学大学院医学研究院教授・公衆衛生学)、中山啓子(東北大学大学院医学系研究科教授・附属創生応用医学研究センター)、南学正臣(東京大学大学院医学系研究科教授・腎臓・内分泌内科学)、細谷紀子(東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター准教授・放射線分子医学部門)、柳田素子(京都大学大学院医学研究科教授・腎臓内科学)、オブザーバー：澤芳樹(大阪けいさつ病院院長／大阪大学大学院医学系研究科名誉教授・保健学科)の 15 名で構成されている。

本年度は開催されなかった。

24. 再生医療等レジストリ協議会

再生医療等製品の市販後調査・治験等における患者登録システムの効率的な運用を目的として発足した。会の事務局は日本再生医療学会が行う。再生医療製品／臨床研究・臨床試験におけるレジストリ調査のあり方を検討し、実際に調査項目の策定までを行う。全体的なポリシーメイキングを行う再生医療レジストリ検討会と、個々の製品や研究の調査項目の策定を行う再生医療等レジストリ委員会の2つの会議体から成る。日本医学会分科会、PMDA、日本再生医療学会と連携をとりながら進めている。

本年度は再生医療等レジストリ委員会ワーキンググループを、7月11日に開催した。

25. 移植関係学会合同委員会

厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。本年度は、第54回を6月12日に書面決議にて開催し、腎臓移植実施施設の認定(1件)を、第55回を8月29日に書面決議にて開催し、膵臓移植実施施設(肝膵小腸コンポジットグラフト移植のみを実施する施設)の認定(3件)を、第56回を1月7日に書面決議にて開催し、脳死肝移植実施施設の認定(2件)を、それぞれ行った。

また、4月25日の腎臓移植認定委員会(酒井謙委員長)からの腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)の報告を受けて、5月13日に厚生労働省、移植関係学会合同委員会委員・オブザーバー、日本臓器移植ネットワーク、関係学会宛に報告を行った。

5月15日の膵臓移植中央調整委員会(栗田卓也委員長)からの膵臓移植レシピエント応基準の追記および肝膵小腸コンポジットグラフトのための施設認定基準・適応判定申請書策定の報告を受けて、5月27日に厚生労働省、移植関係学会合同委員会委員・オブザーバー、日本臓器移植ネットワーク、関係学会宛に報告を行った。

5月30日の膵臓移植中央調整委員会(栗田卓也委員長)からの肝膵小腸コンポジットグラフトのための施設認定基準・適応判定申請書の策定に伴う「膵臓移植レシピエント選択基準」の小改定についての報告を受けて、6月12日に厚生労働省、移植関係学会合同委員会委員・オブザーバー、日本臓器移植ネットワーク、関係学会宛に報告を行った。

6月9日の腎臓移植認定委員会(酒井謙委員長)からの腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)の報告を受けて、6月18日に厚生労働省、移植関係学会合同委員会委員・オブザーバー、日本臓器移植ネットワーク、関係学会宛に報告を行った。

11月13日の腎臓移植認定委員会(酒井謙委員長)からの腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)の報告を受けて、11月26日に厚生労働省、移植関係学会合同委員会委員・オブザーバー、日本臓器移植ネットワーク、関係学会宛に報告を行った。

・6月12日付(第54回)

腎臓移植実施施設認定(1件)

藤沢市民病院

- ・8月29日付(第55回)
 膵臓移植実施施設(肝膵小腸コンポジットグラフト移植のみを実施する施設)
 慶應義塾大学病院
 国立成育医療研究センター
 名古屋大学医学部附属病院
- ・1月7日付(第56回)
 脳死肝移植実施施設
 琉球大学病院
 国立成育医療研究センター(内外のキャリアオーバーの成人のみ)
- ・5月13日付(報告)
 腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)
 砂川市民病院
- ・5月27日付(報告)
 膵臓移植レシピエント応基準の追記および肝膵小腸コンポジットグラフトのための施設認定基準・適応判定申請書策定の報告
- ・6月12日付(報告)
 肝膵小腸コンポジットグラフトのための施設認定基準・適応判定申請書の策定に伴う「膵臓移植レシピエント選択基準」の小改定について
- ・6月18日付(報告)
 腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)
 久留米大学病院
- ・11月26日付(報告)
 腎臓移植実施施設の認定取り下げ(1件)
 済生会下関総合病院

26. 出生前検査認証制度等運営委員会

NIPT を実施する非認定施設の増加により、適切なカウンセリングが行われないまま妊婦がNIPT を受検するケースが増えたことが問題視され、厚生労働省より本会に標記委員会の設置を依頼された。2021年6月の臨時評議員会にて承認されている。

本年度は第12回を9月25日に開催し、第13回を3月16日に開催予定である。

27. 日本医学会 e-News

5月にNo.11を、10月にNo.12を発行した(綴じ込みの「日本医学会 e-News」を参照)。今後不定期に発行する予定である。

28. 情報発信

日本医学会分科会の協力を得て、本会のホームページ(<https://jams.med.or.jp/>)と分科会ホームページをリンクしている。

29. 会議等の開催数

日本医学会幹事会	1回
日本医学会臨時幹事会	1回
日本医学会定例評議員会	1回
日本医学会臨時評議員会	1回
日本医学会協議会（会長，副会長）	12回
日本医学会正副会長会議	1回
日本医学会シンポジウム	2回
日本医学会シンポジウム打ち合わせ会	2回
日本医学会公開フォーラム	2回
日本医学会公開フォーラム打ち合わせ会	2回
日本医学会シンポジウム企画委員会	2回
日本医学会シンポジウム組織委員会（メール開催）	2回
日本医学会公開フォーラム企画委員会	2回
日本医学会公開フォーラム組織委員会（メール開催）	2回
日本医学会医学用語管理委員会	1回
遺伝学用語改訂に関するワーキンググループ	2回
不適切語を含む医学用語の検討ワーキンググループ	3回
用語標記基本指定策定ワーキンググループ	3回
日本医学会分科会用語委員会	1回
日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会	1回
日本医学会加盟検討委員会	1回
日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会	3回
日本医学会利益相反委員会	2回
日本医学会分科会利益相反会議	1回
日本医学雑誌編集者組織委員会	1回
日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）・シンポジウム	1回
研究倫理教育研修会	1回
日本医学会総会あり方委員会	0回
再生医療等レジストリ協議会	1回
移植関係学会合同委員会	3回
出生前検査認証制度等運営委員会	2回
記者会見	0回

30. その他

- 1)「日本医学会分科会一覧」を9月に作成, 関係各方面に配付した.
- 2)「2026年日本医学会分科会総会一覧」(オンライン版)を2026年1月に作成した.
- 3)「日本医師会年次報告書 令和7年度版」および「令和7年度日本医師会事業報告」に, 日本医学会関係の記事を掲載する予定.



開催報告

第92回日本医学会定例評議員会

2025年2月21日(金)に、WEB(zoom)にて開催された。主な決議事項は1. 2025年度事業計画, 2. 2024年度日本医学会加盟学会の件であり、承認をいただいた。日本医学会新規加盟学会は、日本甲状腺学会の1学会であり、これにより加盟学会は144学会になった。

日本医学会加盟検討委員会

2024年度第1回日本医学会加盟検討委員会を、2024年12月18日(水)にWEB(zoom)で開催した。加盟申請の20学会についての審査を慎重に行い、その結果を2025年1月31日(金)の日本医学会協議会で門協会長に報告した。

イベント情報

第9回研究倫理教育研修会

テーマ「変貌を遂げる研究倫理のアップデートとその啓発」

会期：2025年5月1日(木)

主催：日本医学会連合研究倫理委員会, 日本医学会連合診療ガイドライン検討委員会,
日本医学会連合利益相反委員会, 日本医学雑誌編集者組織委員会,
日本医学会利益相反委員会

日本医師会館大講堂にて日本医学会分科会の各委員会の代表者を対象に現地開催。終了後、ホームページで映像配信する。

第37回日本医学会公開フォーラム

テーマ「認知症医療の新時代を迎えて」

会期：2025年5月17日(土)

組織委員：岩坪 威(国立精神・神経医療研究センター神経研究所長・理事)
池内 健(新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター教授)

市民を対象とした公開フォーラムである。

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

第166回日本医学会シンポジウム

テーマ「宇宙医学の展望～有人宇宙飛行の飛躍の時代にむけた医学」

会期：2025年5月24日(土)

組織委員：岩崎 賢一(日本大学医学部衛生学分野教授/日本宇宙航空環境医学会理事長)

東 尚弘(東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野教授)

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

公 示

医学賞・医学研究奨励賞

2025年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は、5月15日(木)～7月1日(火)。推薦書は、公示日より日本医師会ホームページ(<https://www.med.or.jp/etc/igakusyo/>)からダウンロードできる。

日本医学会への加盟申請

2025年度の日本医学会への新規加盟申請は、5月15日(木)に公示(日本医師会雑誌等)し、7月31日(木)に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページ(<https://jams.med.or.jp/>)からダウンロードできる。



開催報告

医学賞・医学研究奨励賞の決定

選考委員会を8月22日(金)に開催し、2025年度の日本医師会医学賞・医学研究奨励賞の授賞が決定した。

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会にて、今年度の推薦数：医学賞21、奨励賞38を審査した。

選考の結果、11月1日(土)の日本医師会設立記念医学大会において、今年度の医学賞は4名、奨励賞は15名に授与される。

選考の結果は下記のとおり。

<2025年度日本医師会医学賞>

- 血液細胞の産生、骨芽細胞の供給に必須の骨髄微小環境(ニッチ)の解明
長澤丘司(阪大・免疫学)
- 医療と介護を結ぶヘルスサービスリサーチの構築と展開
田宮菜奈子(筑波大・社会医学)
- 双極性障害の神経基盤の解明
加藤忠史(順天堂大・精神医学)
- 角膜難病の視力予後改善に向けた実用的研究
外園千恵(京都医大・眼科学)

<2025年度日本医師会医学研究奨励賞>

- 日本人におけるRNF213遺伝子多型と多様な疾患に関する横断的病態解析
曳野圭子(理化学研・小児科学・集中治療)
- 高解像度空間解析を活用したリンパ腫微小環境機構の解明
安部佳亮(筑波大・血液内科)
- 転写・翻訳解析に基づいた血液がんの新たな病態理解と治療応用
井上大地(阪大・血液内科)
- T細胞によるセルフとネオセルフトの識別機構を標的とした自己免疫疾患の発症機序解明と新規治療戦略の開拓
森 俊輔(阪大・膠原病・リウマチ)
- 医療側と患者側のデータ統合による代表性を担保した保健医療政策研究
杉山雄大(国立健康危機管理研究機構・社会医学)
- 現代の社会環境が子どものメンタルヘルスに及ぼす影響に関する社会疫学研究
細澤麻里子(国立健康危機管理研究機構・公衆衛生学)
- 治療補助アプリによるアルコール依存症早期介入の最適化
—効果層別化による診療科別治療分担モデル構築—
宋 龍平(岡山県精神科医療セ・精神医学)

次ページへ続く

●上下気道アレルギー疾患のシングルセル・マルチオミクスアトラスの創生と個別化医療の推進

吉田昌弘 (慈恵医大・呼吸器内科学)

●ミトコンドリア伝播の難治性肺疾患への影響の解明

富樫庸介 (岡山大・呼吸器内科学)

●転写因子に着目した消化器神経内分泌癌の臨床分類と新規治療法開発

川崎健太 (慶大・消化器内科学)

●高シヨ糖を介した肥満症・糖尿病発症機序における免疫細胞 GLUT5 の病態生理学的意義の解明

川野義長 (慶大・内分泌代謝学)

●大腸がんにおける中皮細胞起源腫瘍免疫制御メカニズムの解析

笠島裕明 (大阪公立大・消化器外科学)

●腫瘍由来エクソソームに着目した泌尿器癌におけるがん免疫制御機構の解明とコンパニオン診断薬の開発

占部文彦 (慈恵医大・泌尿器科学)

●海馬 Ripple を標的とした新規てんかん治療法と記憶障害に関する基盤的研究

岩田貴光 (阪大・脳神経外科学)

●AI学習を用いたp53変異婦人科癌における新規p53染色パターンの空間的分布解析

岩橋尚幸 (和医大・産科婦人科学)

イベント情報

第38回日本医学会公開フォーラム

テーマ：「AIがもたらすこれからの医療DX」

会期：2025年12月20日(土) 13:00～17:05

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：大江 和彦 (順天堂大学大学院健康データサイエンス研究科特任教授)

中島 直樹 (九州大学大学院医学研究院医療情報学分野教授)

市民を対象とした公開フォーラムである。

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。

第167回日本医学会シンポジウム

テーマ：「こどもの心とからだを支える—成育医療と社会の接点」

会期：2025年12月13日(土) 13:00～16:45

会場：日本医師会館大講堂

組織委員：岡 明 (埼玉県立小児医療センター病院長)

滝田 順子 (京都大学大学院医学研究科発達小児科学教授)

参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会ホームページ参照。